

2 段 式 ガ ス 乾 燥 機 取 扱 説 明 書

CT-140W (300DFG)

ご使用の前に必ず取扱説明書を読んで、
正しく作業して下さい。
お読みになった後は必ず保存して下さい。

TOSEI 東 静 電 気 株 式 会 社

目次

はじめに.....	3
機械仕様.....	5
シングルドラム式機械全体寸法.....	5
ダブルドラム式機械全体寸法.....	6
ダクト取付位置図面.....	7
ガス配管接続位置図面.....	8
電気配線接続位置図面.....	9
シングルドラム式機械全体寸法.....	10
据付説明.....	11
機械の受け取り.....	11
機械の設置について.....	11
必要な機能.....	13
単独排気（乾燥機1台にダクト1本）.....	13
複合排気（乾燥機数台を一本の集合ダクトで排気する）.....	13
ダクト取付概観図.....	14
ダクト施行要領.....	15
電気接続.....	16
電気仕様.....	16
電気接続方法.....	16
ガス接続.....	17
ガス圧力.....	17
蒸気接続.....	17
蒸気仕様.....	17
配管の接続方法.....	17
トラップの取付方法.....	18
配管概観図.....	18
インスタント電気イグニッションの動作確認方法.....	19
試運転前の点検.....	20
機械の調節.....	21
エアーフロースイッチ（安全スイッチ）の調節.....	21
ドアスイッチ（安全スイッチ）の調節.....	22
ドア留めネジ（ストライク）の調節.....	22
ベルトの調節.....	22
操作説明.....	23
業務用乾燥機（タイマー式）.....	23
コイン用乾燥機.....	23

お客様が行なわなければならない保守	24
毎日	24
毎月	25
リント掃除	25
3ヶ月	25
掃除	25
ベルトの張り調節	25
6ヶ月	25
ユーザー向け故障発見早見表	26
コイン設定の方法	27
コイン投入枚数の決定（ディップスイッチ1～3）	27
動作時間の決定（ディップスイッチ4～8）	27

はじめに

このたびは弊社の製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。本取扱説明書を良くお読みになって安全にそして快適に弊社製品をお使い頂けるよう願っております。

覚書

この取扱説明書に記載されている、警告は起きうる状況を予測して記載してありますが、常識的行動、注意、慎重さを持って作業者は作業を行ってください。分からない事が有れば必ず当社又は当社代理店までご連絡下さい。



警告

メーカーの指示通りに据え付けられていない機械は火災や重大な怪我や死を招く事が有ります。乾燥機を設備する場所には必ず吸気口を取り付けて下さい。



警告

この取扱説明書に記載されている事を正しく実行する事は爆発や火災の危険、機械や設備破損の危険を少なくするばかりでなく、怪我や死にいたる事故を防ぐ為に必要な事柄です。

◇ガソリン、石油等の可燃性の溶剤、ガスは絶対に使用したり、近くに置かないで下さい。

◇ガスの匂いがしたら：

- ・絶対に火の気を起こさないでください。
- ・絶対に電気スイッチに触らないでください。電話も使用しないでください。
- ・室内に有る可燃性のものはすべて片付けてください。
- ・室外の電話を利用して大至急ガス供給業者に連絡を取ってください。
- ・ガス供給業者に連絡が付かなければ消防署に連絡を取ってください。

据付、修理は必ず技術者が行ってください。



警告

安全の為、可燃性の溶剤、ガスは機械に近づけないで下さい。

重要

緊急時に連絡が取りやすいように以下の事柄はメモを取り、すぐに見られる場所に置いておきましょう。

- ・ガス供給業者の電話番号、担当者
- ・機械を購入した販売店の電話番号、担当者、日付
- ・機械の型式と製造番号

重要な安全指導項目

(必ず分かりやすい場所に保存しておく事)



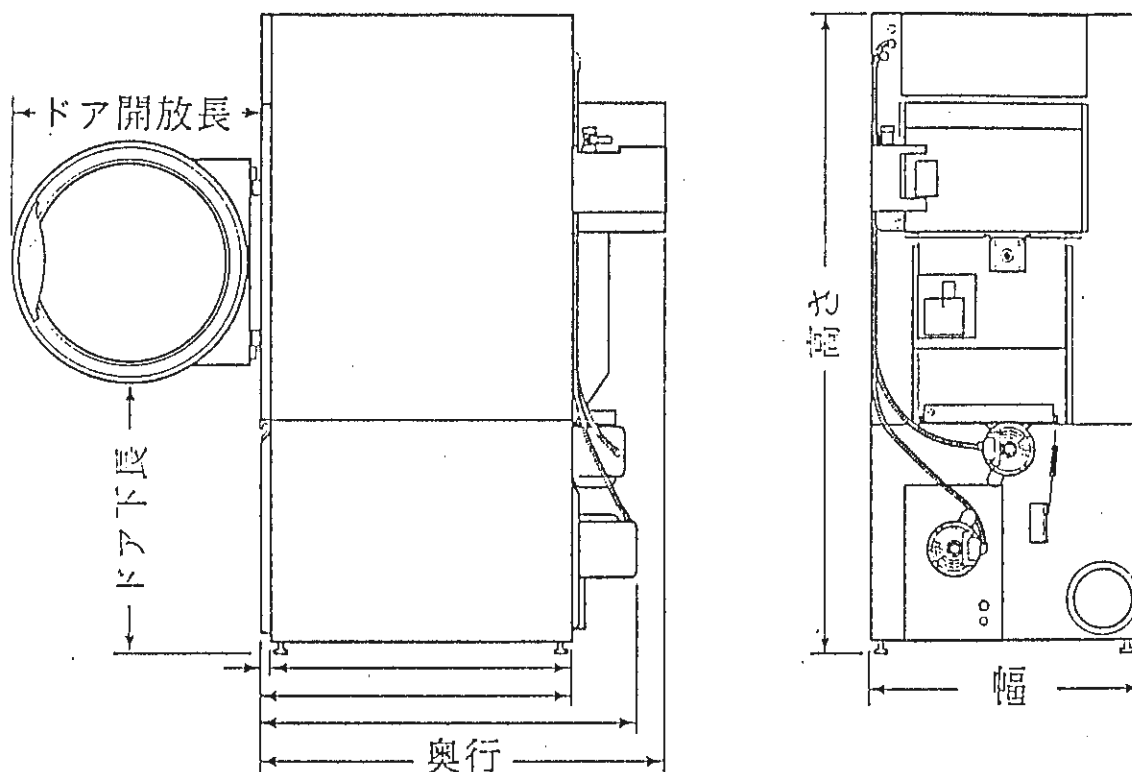
警告

乾燥機を使用する際に火災、感電、障害事故、死にいたる事故を防ぐ為に次の項目に従ってください。

1. 指導前に取扱説明書全ての内容に目を通し、把握してください。
2. 取扱説明書に記載されている内容で必ずアース（接地）を行ってください。
3. 可燃性溶剤またはドライクリーニング溶剤が付着した衣類を絶対に乾燥させないで下さい。爆発、火災、機械破損の危険があります。
4. 機械に子供を近づけないようにして下さい。子供が機械の近くにいる時は保護者に監視をさせてください。
5. ドラムが回転している間は絶対にドラムや衣類に触らないで下さい。
6. 水気の多い場所や、雨風にさらされる場所には機械を設置しないで下さい。
7. コントロールボックス内部は触らないで下さい。
8. 修理や交換作業は技術を習得した上で取扱説明書に従って行ってください。
9. 静電気を防止する目的でのソフターの使用は、ソフターのメーカーの指示が無い限り行わないでください。
10. 火災の危険を少なくする為、プラスチック製品はビニール製品の様な燃えやすいものは乾燥しないで下さい。
11. 常にリントフィルターをきれいに保ってください。効果的な乾燥と、乾燥時間を短く保てます。爆発、火災、機械破損の原因にもなります。
12. 排気ダクト周辺（特に出口）は常にきれいに掃除し、空気の流れを邪魔しないように物は近くに置かないで下さい。爆発、火災、機械破損の原因にもなります。
13. 機械内部も定期的に技術者に掃除してもらう必要があります。
14. 機械が適切に設置、操作、保守がされていない時に起きる不完全燃焼に依るガスの発生は死に至る事故、重大な疾病などの人体に障害をもたらす原因となります。
15. 機械のドアは開けると機械を停止させる安全スイッチがついていますが、これを短絡した状態または破損した状態で絶対に運転しないで下さい。またこの安全スイッチを手で押すなどして短絡した状態で絶対に運転しないで下さい。
16. 植物性、動物性の油が付着した状態で乾燥させると、それらの油は繊維に定着して除去する事が出来無くなります。
17. 火災の危険を防ぐ為に、機械油、ワックス、シンナーなど可燃性の溶剤が付着した状態では絶対に乾燥しないで下さい。
18. 乾燥機は衣類を乾燥するという目的意外には使用しないで下さい。
19. 修理を行なう時は必ず電源を切ってください。
20. 設置や接続は必ず専門家が行ってください。
21. 乾燥が終了したら直ちに衣類をドラムから取出してください。
22. ファイバーガラス製のカーテンは乾燥機使用可能の表示が無い限り乾燥させないでください。
23. 衣類を乾燥する前に衣類に付けられている乾燥表示を確認し、それに従ってください。
24. 機械の外部パネルが外された状態では、絶対に運転しないで下さい。
25. 機械の部品が紛失、破損した状態では、絶対に運転しないで下さい。
26. 安全装置は絶対に短絡しないで下さい。

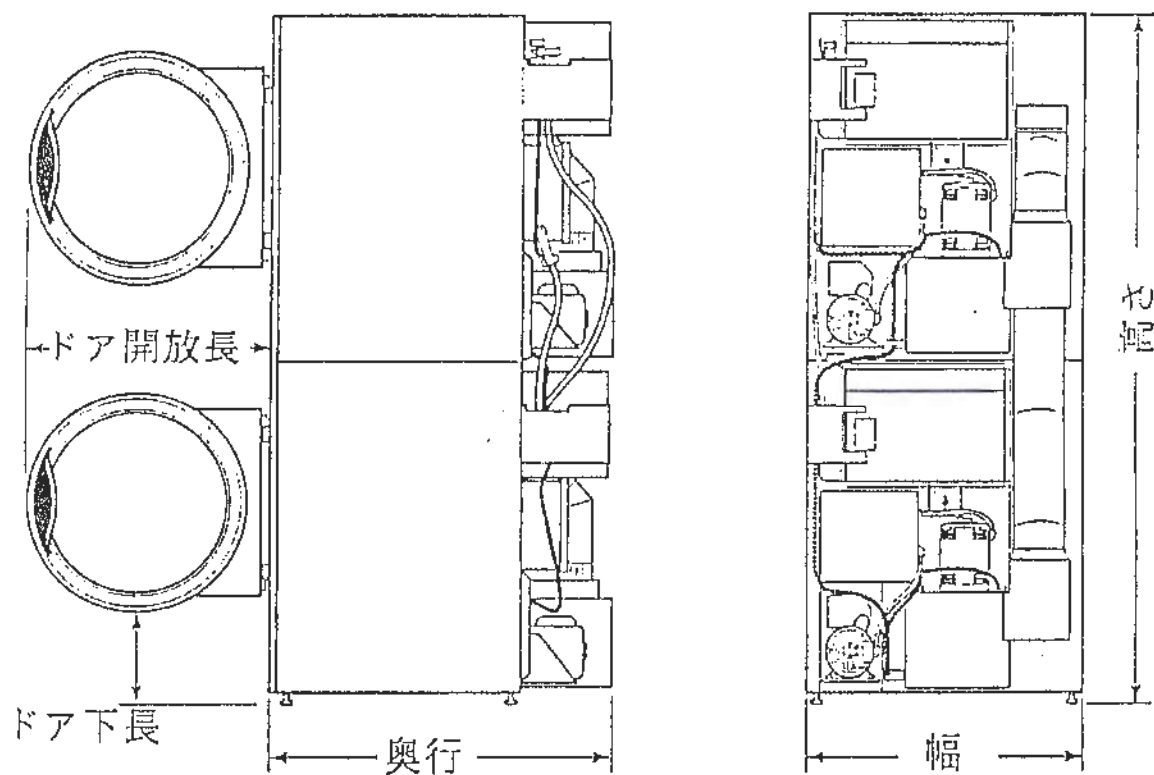
機械仕様

シングルドラム式機械全体寸法



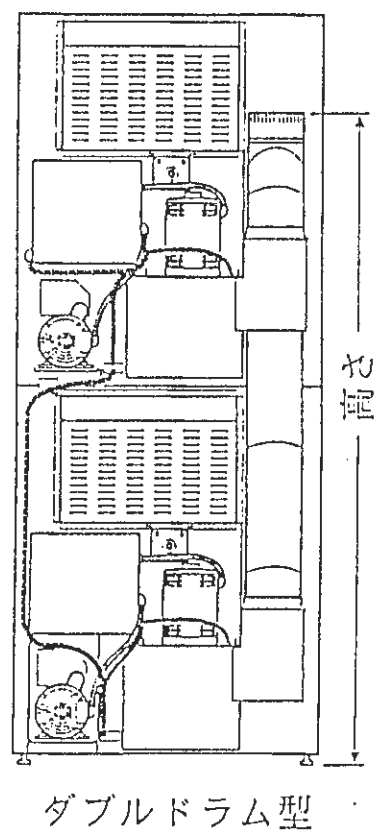
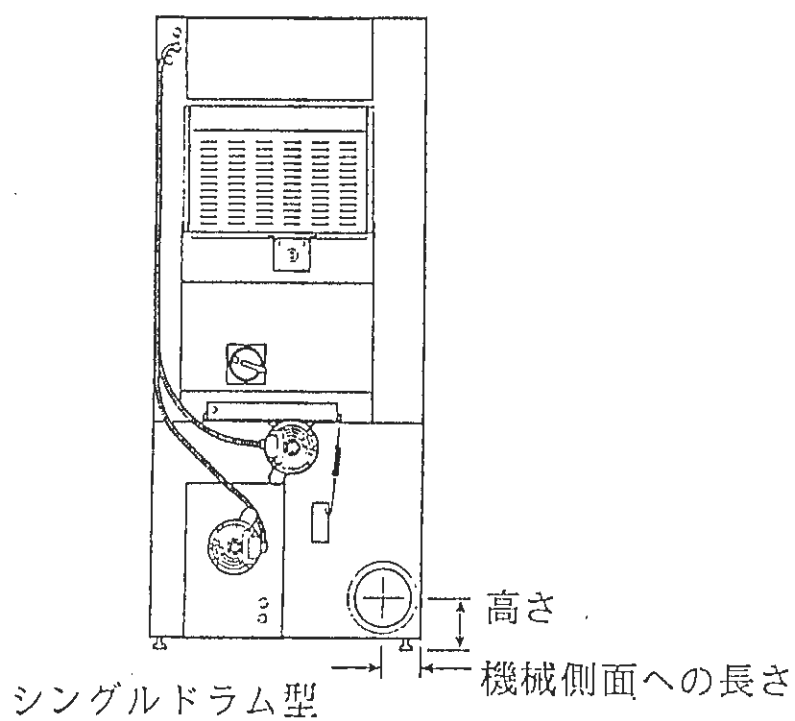
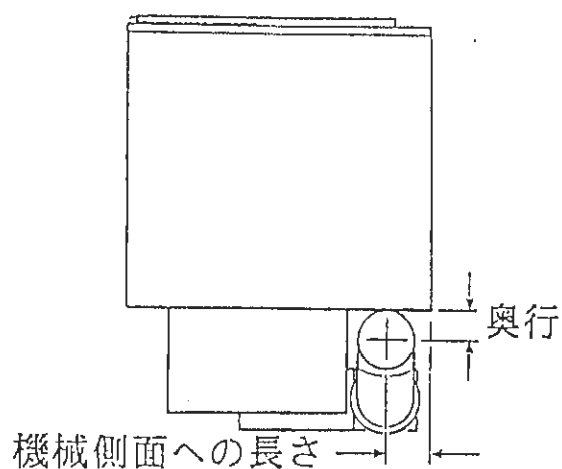
型式	幅	奥行	高さ	ドア開放長	ドア下長
220S	711 ^{mm}	987 ^{mm}	1622 ^{mm}	667 ^{mm}	699 ^{mm}
270S	711 ^{mm}	1140 ^{mm}	1622 ^{mm}	667 ^{mm}	699 ^{mm}
350S	800 ^{mm}	1140 ^{mm}	1622 ^{mm}	711 ^{mm}	699 ^{mm}

ダブルドラム式機械全体寸法



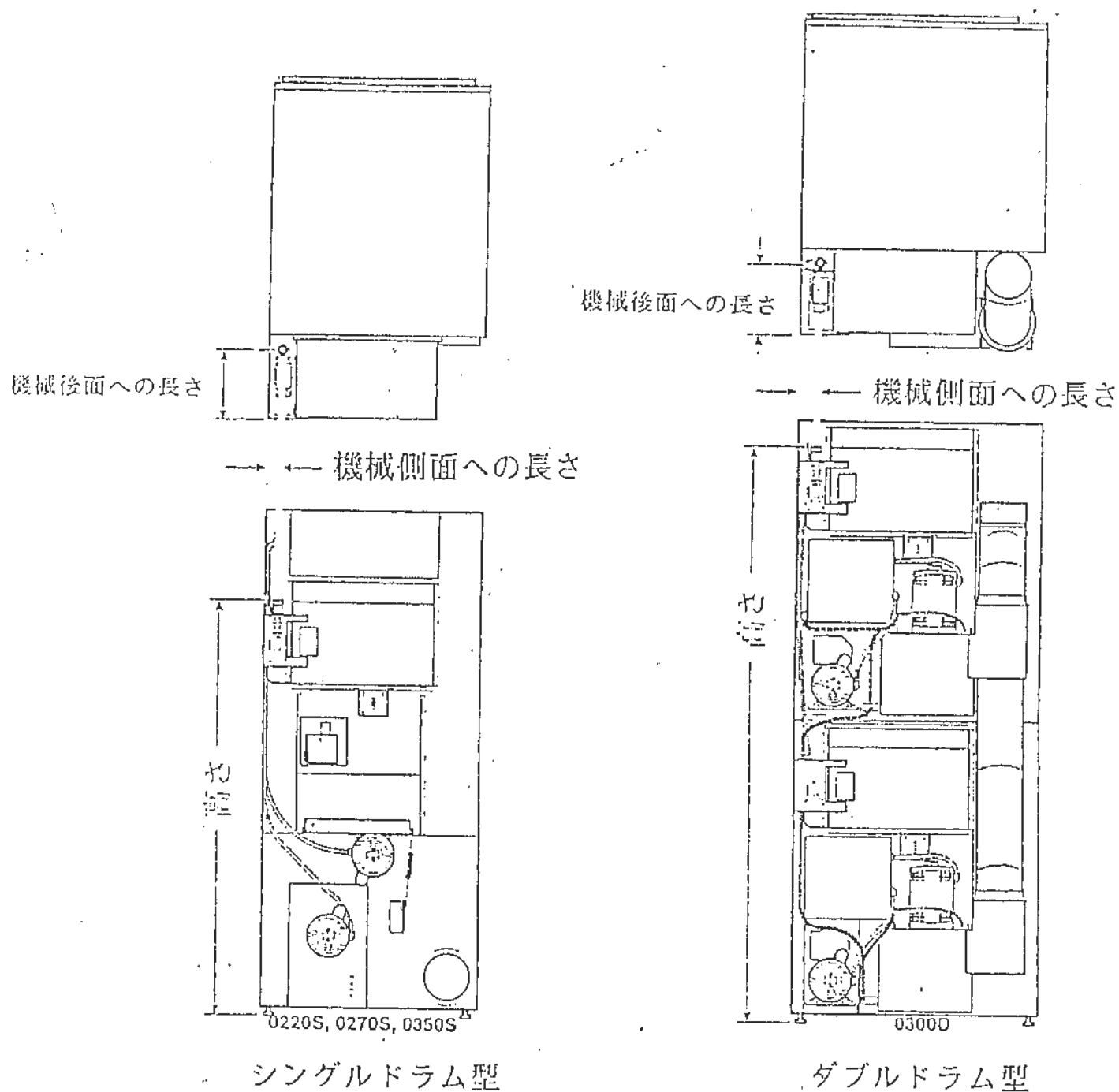
型式	幅	奥行	高さ	ドア開放長	ドア下長
300D	800 _{mm}	1090 _{mm}	1973 _{mm}	711 _{mm}	254 _{mm}

ダクト取付位置図面



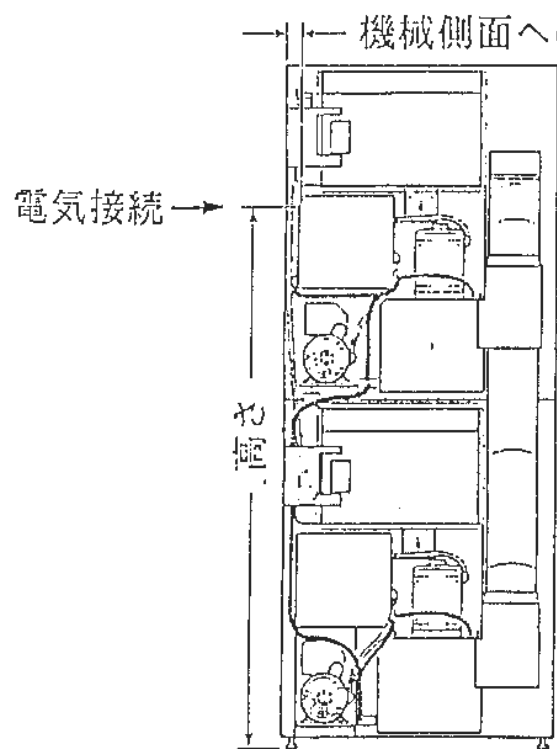
型式	ダクト径	機械側面への長さ	床からの高さ	奥行
220S	150 ^{mm}	99 ^{mm}	117 ^{mm}	—
270S	150 ^{mm}	99 ^{mm}	117 ^{mm}	—
300D	200 ^{mm}	124 ^{mm}	1937 ^{mm}	101 ^{mm}
350S	200 ^{mm}	124 ^{mm}	143 ^{mm}	—

ガス配管接続位置図面

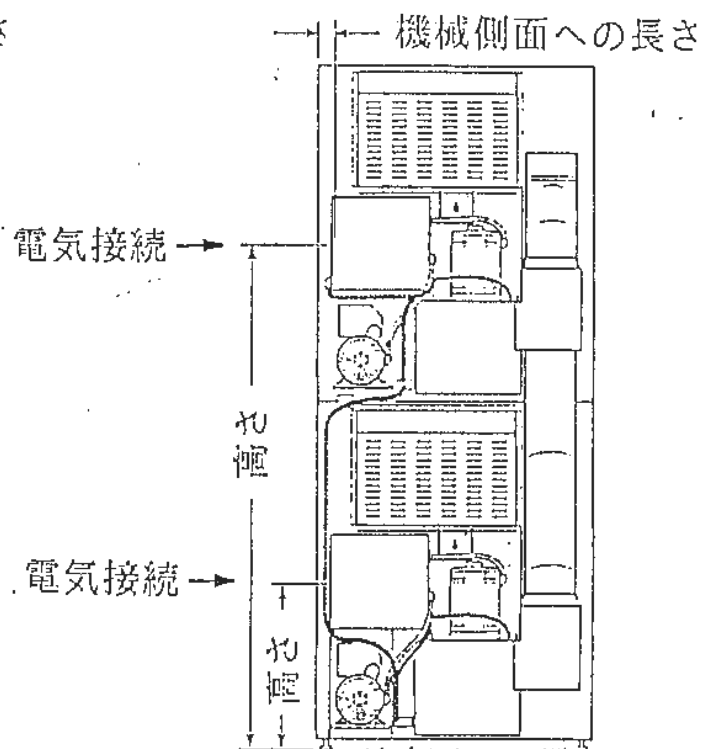


型式	配管径	発熱量	高さ	機械側面への長さ	機械後面への長さ
220S	1/2B	17,000kcal	1500 ^{mm}	38 ^{mm}	229 ^{mm}
270S	1/2B	18,400kcal	1500 ^{mm}	38 ^{mm}	229 ^{mm}
300D	1/2B	18,400 x 2kcal	2032 ^{mm}	64 ^{mm}	280 ^{mm}
350S	1/2B	22,000kcal	1500 ^{mm}	64 ^{mm}	229 ^{mm}

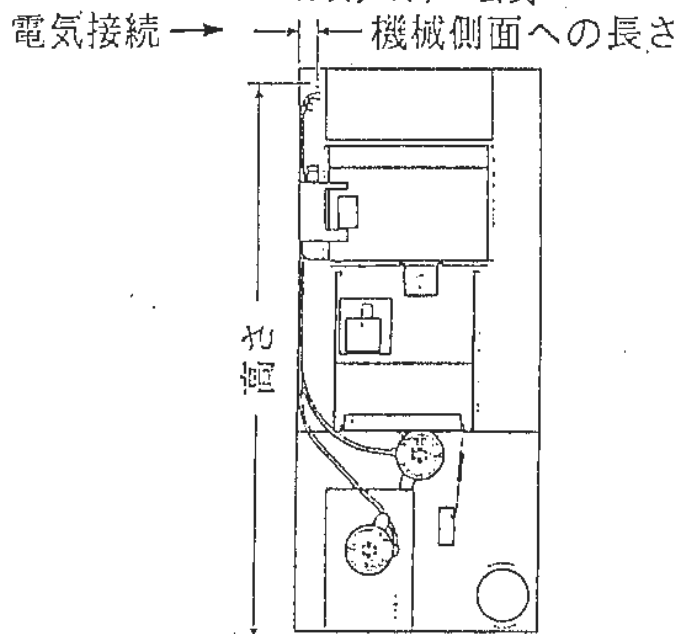
電気配線接続位置図面



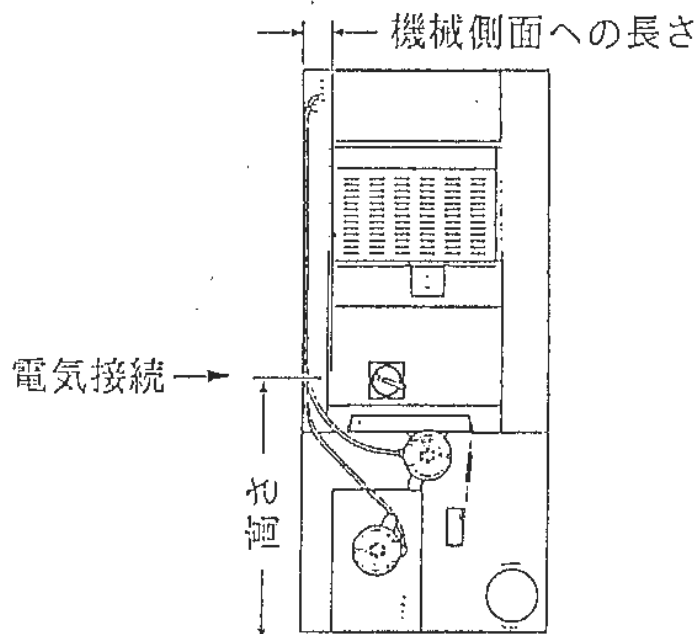
ダブルドラム型
ガス／スチーム式



ダブルドラム型
電気式



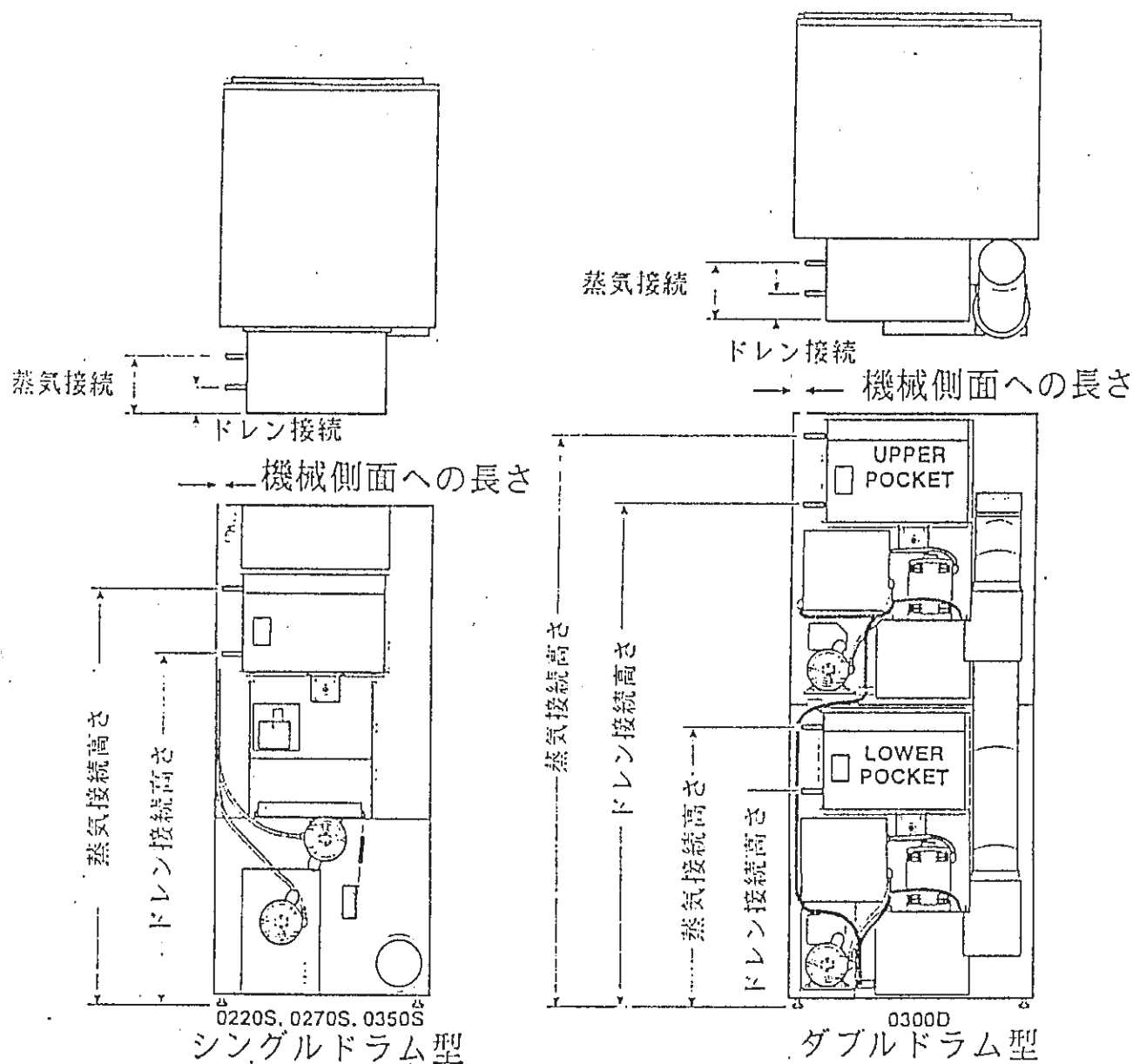
シングルドラム型
ガス／スチーム式



シングルドラム型
電気式

型式	ガス・蒸気ヒーター式		電気ヒーター式	
	床からの高さ	機械側面への長さ	床からの高さ	機械側面への長さ
220S	1580 ^{mm}	50 ^{mm}	711 ^{mm}	83 ^{mm}
270S	1580 ^{mm}	50 ^{mm}	711 ^{mm}	83 ^{mm}
300D	1450 ^{mm}	50 ^{mm}	1232 ^{mm}	178 ^{mm}
350S	1580 ^{mm}	80 ^{mm}	711 ^{mm}	108 ^{mm}

蒸気配管接続位置図面



型式	床からの高さ		機械後面への長さ		機械側面への長さ
	蒸気入	ドレン	蒸気入	ドレン	
220S	1365 ^{mm}	1080 ^{mm}	198 ^{mm}	99 ^{mm}	25 ^{mm}
270S	1365 ^{mm}	1080 ^{mm}	198 ^{mm}	99 ^{mm}	25 ^{mm}
300D上	1883 ^{mm}	1598 ^{mm}	295 ^{mm}	194 ^{mm}	55 ^{mm}
300D下	930 ^{mm}	643 ^{mm}	295 ^{mm}	194 ^{mm}	55 ^{mm}
350S	1365 ^{mm}	1080 ^{mm}	198 ^{mm}	99 ^{mm}	55 ^{mm}

機械の受け取り

機械が到着したら、機械の受け取り書にサインをする前に機械の梱包状態、凹み、傷などが無いかチェックしてください。もしその様な箇所が見つかったら必ず運送会社と、機械の販売店にその旨を告げ、その度合に応じた対処をしてください。

機械の設置について

重要

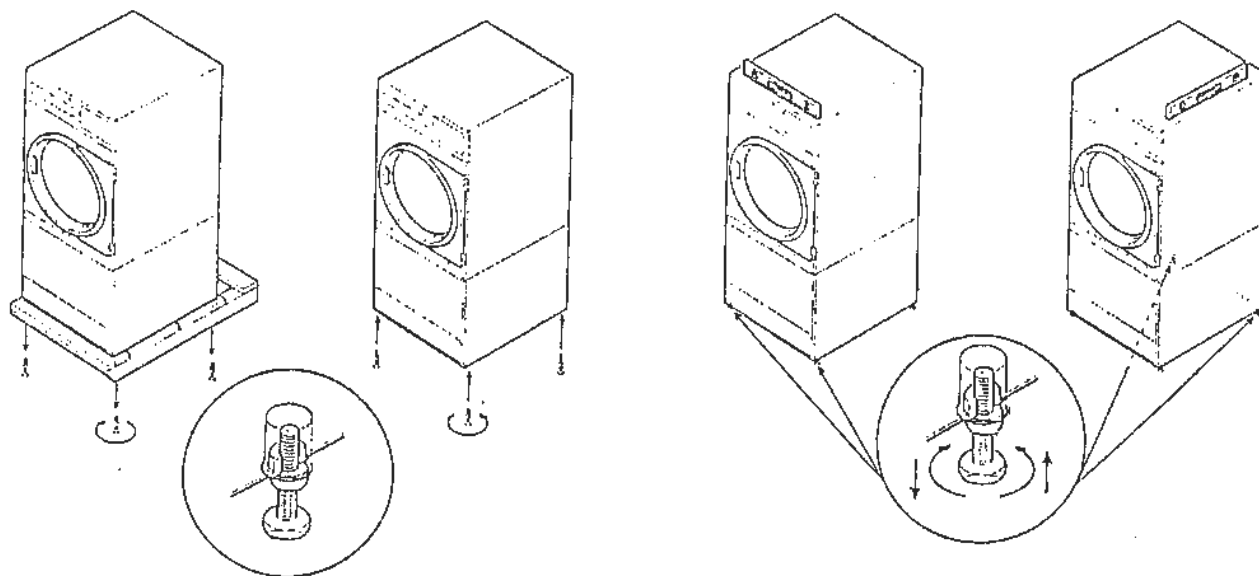
機械と搬送パレットを固定する為についているボルトは機械のレベル（水平）出しに必要なので絶対に棄てないで下さい。

1. 機械を搬送パレットに固定している4本のボルトを外します。（ボルトは保管しておきます。）
2. 水平を取ります。前後左右の高さ調節は前に保管しておいた4本のボルトを所定の穴にねじ込んで調節します。

水平の見方

◇前後の水平はドラム内の突起部（通称：サン、リブ、ピーター）に水平器を当てて見ます。機械は完全な水平か、ほんの少し後ろに傾斜している程度が良いでしょう（2～3mm 前面パネルが高い程度）。機械が前に傾斜していると、品物がドアガラスに当たり易くなり、金属などでガラスが割れたり、外れたりする原因となります。

◇左右の水平は前面と後面のパネル上部に当てて見ます。



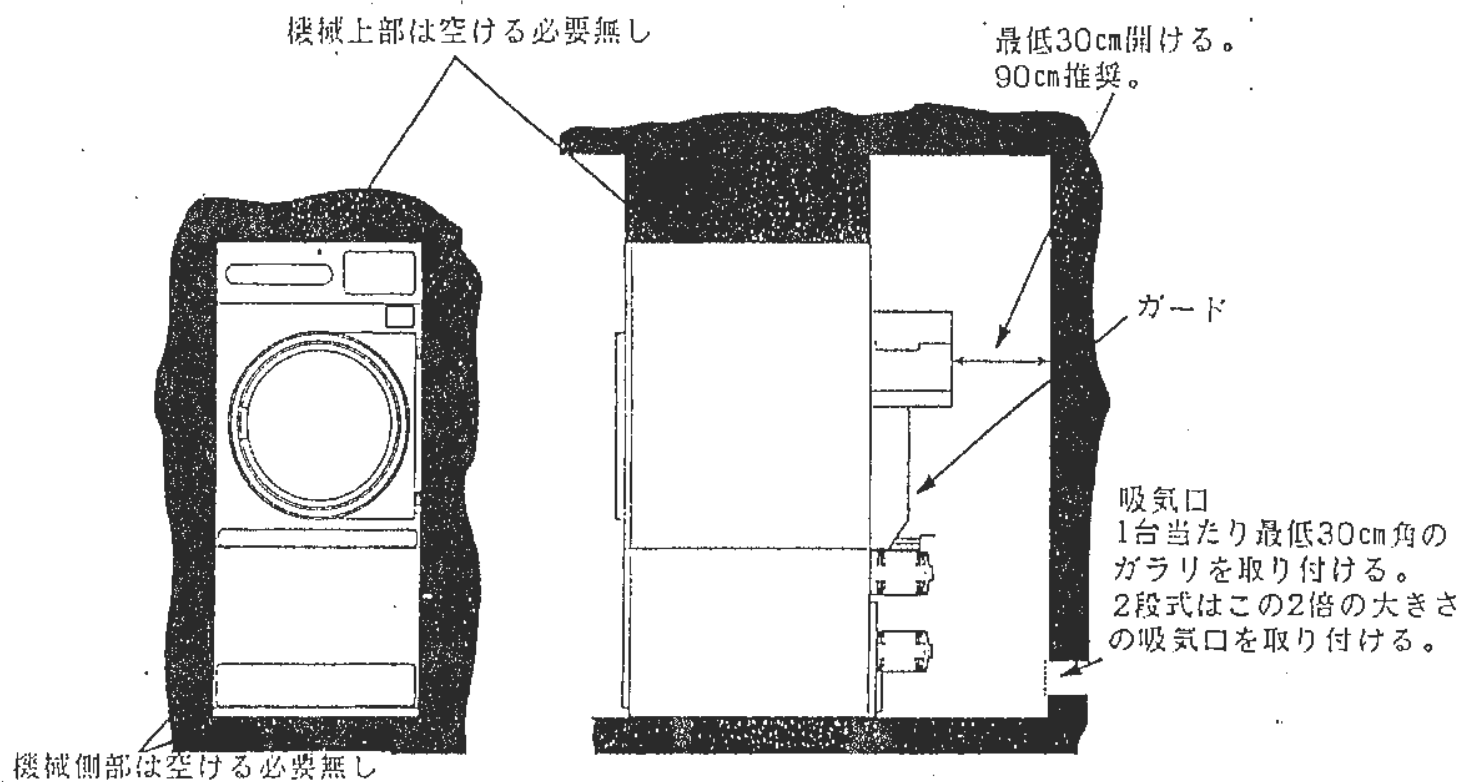
3. 機械周りの壁の施工方法は以下ようになります。

機械周りは以下のようにスペースを取って下さい。

機械後部：人がメンテナンスなどで通れるように最低60cm

機械側部：開ける必要なし。

機械上部：前面から10cmの範囲では下がり壁を密着させてよいが、それより後ろは天井まで30cm以上開けること。



必要な機能



警告

乾燥機は可燃性の綿ぼこりを出します。危険を少なくするには必ず排気は外に排出してください。

◇床

なるべく水平を出してください。静加重は485kg/平方メートルです。タイルやカーペットの上には置かないで下さい。

◇配置

可能な限り外に面した壁際に据え付けてダクトの距離を最短に押さえてください。機械上部後ろからの吸気を良くしてください。

◇換気

排気は最短距離のスパイラルダクトで外へだし、機械後部に吸気窓を設けてください。



警告

乾燥機には換気が必要です。必ず吸気口を設けて、外気を取り入れながら新鮮な空気で乾燥できる状態にして下さい。換気の無い設置場所での運転は、ガスの不完全燃焼、酸欠、一酸化炭素中毒など、人体に危険を及ぼす原因となります。

単独排気（乾燥機1台にダクト1本）

1台の機械での最長ダクト長は直管4.5メートル＋エルボ2ヶです。それ以上にダクトが長くなったり、エルボを多く取り付ける時は直管6メートル又はエルボ2ヶ増える毎にダクトの直径を1割大きくしてください。

例：機械のダクト接続φ200

直管10メートル＋エルボ4ヶ＝直径の2割増しが必要。

従って200×1.2＝240、φ250のダクトにしなければいけない。

複合排気（乾燥機数台を一本の集合ダクトで排気する）

複数の乾燥機を一本の大きな集合ダクトで排気します。集合ダクトに機械からの細いダクトを取り付ける時は絶対に直角（90°）に取り付けずに、45°のエルボを使用して取付けてください。

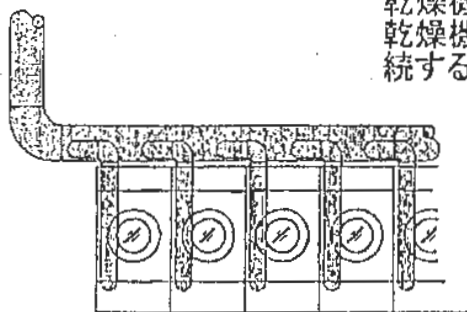
ダクト取付概観図



警告

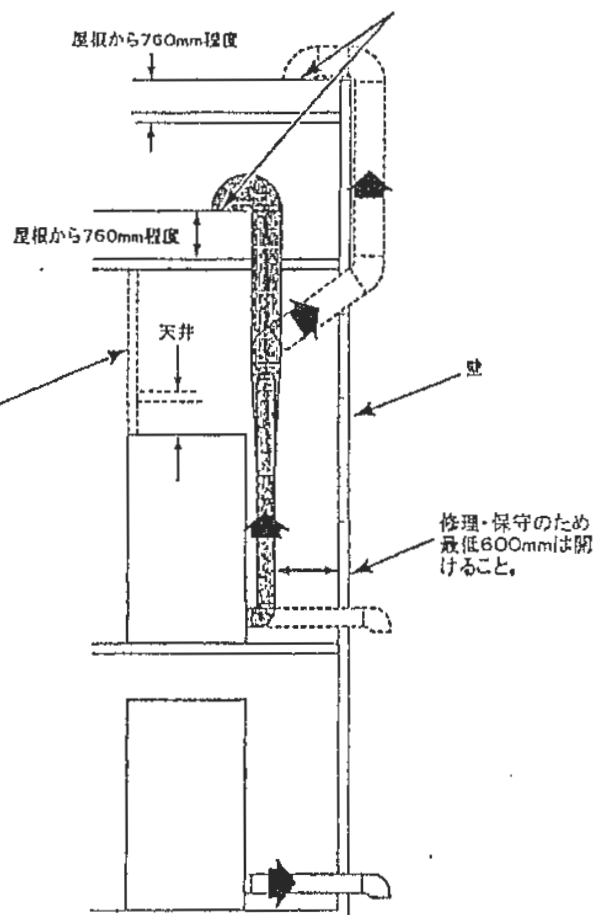
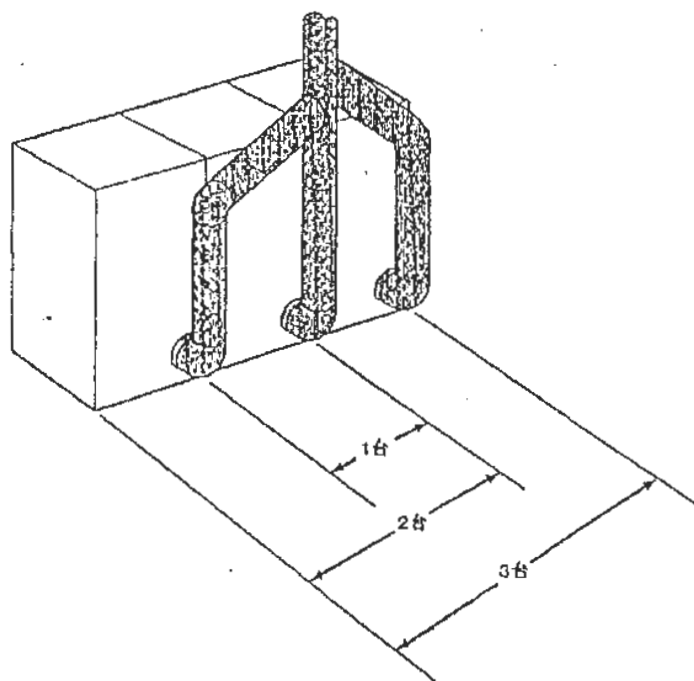
ドライクリーニング溶剤を使用した機械を乾燥機と同一室内に設置している場合、ドライクリーニング溶剤は乾燥機のヒーターによって加熱されると、酸化します。この酸化したガスは機械を腐食させる原因になりますので、十分な大きさと溶剤のガスを吸わない位置に乾燥機用の吸気口を取り付けてください。

乾燥機を効率よくご使用頂くためには、乾燥機一台一台に一本一本ダクトを接続するのが最も効率の良い方法です。



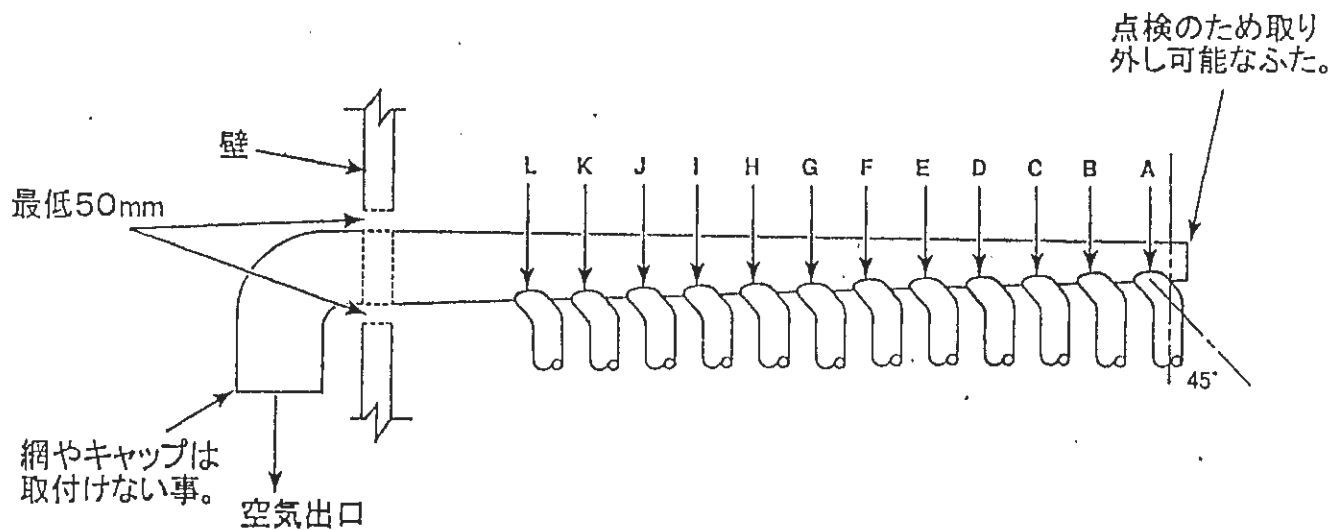
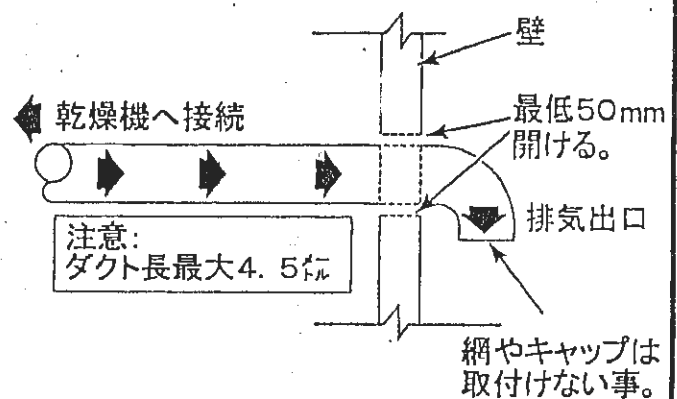
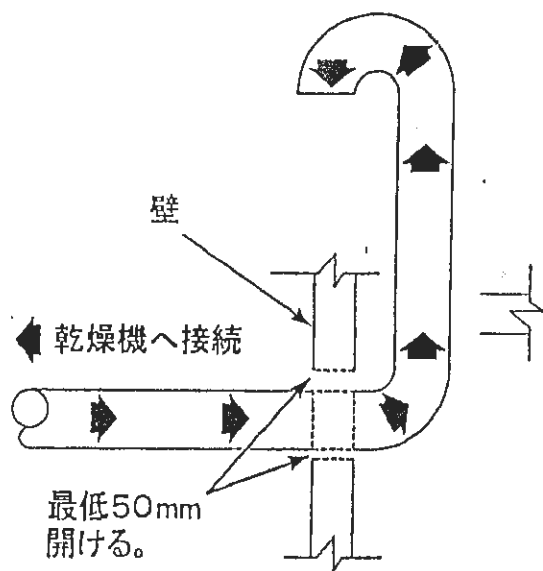
ダクト出口には金網などを取り付けないでください。ほこりが蓄積して安全で効率の良い排気が出来なくなります。

下がり壁は必ず取り外し可能にすること。



施工の際は必ず建築法に準拠した施工方法を実行してください。

ダクトの接続はリントがたまり易いのでピス止めにはしないでください。



台数に合わせた集合ダクトのサイズ一覧

台数	図面表示	集合ダクトサイズ	
		220S/270S	300D/350S
1台	A	200	250
2台	B	250	300
3台	C	300	400
4台	D	350	450
5台	E	400	500
6台	F	450	550

電気接続



警告

アース（接地）は安全確保の為に必ず電気の資格を持った専門家が行ってください。アースが適切に取られていないと、感電死、感電事故、火災、爆発事故などを引き起こします。

電気仕様

熱源	型式	電気仕様	定格	
ガス	220S, 270S, 350S	200V 単相	0、44	KW
	300D	200V 単相	0、44×2	KW
蒸気	220S, 270S, 350S	200V 3相	0、44	KW
	300D	200V 3相	0、44×2	KW
電気	220S	200V 3相	12、5	KW
	270S	200V 3相	21、5	KW
	300D	200V 3相	21、5	KW
	350S	200V 3相	24、5	KW

電気接続方法

1. 必ず一台に一つずつブレーカーを取付けてください。保守・修理作業時に必要です。
2. ガス式の場合
配電ボックスのカバーを外して予め呼び線がついている所またはL1とL2に単相線を取り付けます。Nは無視して下さい



注意

配線を間違えますと、機械を破損しますので、良く理解した上で接続を行ってください。

電気式・蒸気式の場合

配電ボックスのカバーを外して予め呼び線がついている所またはL1、L2、L3に3相線を取り付けます。アースを図のネジの所から取ります。
取り付けた後一瞬機械をスタートさせて、回転方向を確認してください。

ガス接続

ガスの工事は必ず専門の工事業者に行ってもらってください。

⚠ 警告

爆発や、火災の危険を防ぐためにLPガスの設備に伴って必ず機械の設置されている場所に換気口を設けてください。

ガス圧力

都市ガス (13A) : 1.62 ± 0.37 kPa
LPガス : 2.74 ± 0.07 kPa

⚠ 警告

ガス本管の供給圧力テストを行なう際に3.45 kPaを超える圧力になる際には必ず元バルブを閉めてください。

それぞれの乾燥機に一つずつ取付けてあるバルブはガスの供給圧力テストを行なう際に3.45 kPaを超える圧力になる時は必ず閉めてください。

⚠ 警告

爆発や、火災の危険を防ぐために全てのガス配管に漏れが無いかを必ず点検してください。少なくとも一年に1回、ガス漏れの点検を行ってください。

蒸気接続

蒸気仕様

容量	供給圧力	最大圧力	配管寸法
15 [#]	5.6~7.0 kgf/cm ²	8.5 kgf/cm ²	入/出
23 [#]			3/4B
34 [#]			

配管の接続方法

- トラップの後にバルブを取り付ける。
- 電磁弁を蒸気コイルに取り付ける。(図参照)
- 入の配管にバルブを取り付け、電磁弁との間にストレーナーを取り付ける。(図参照)

重要

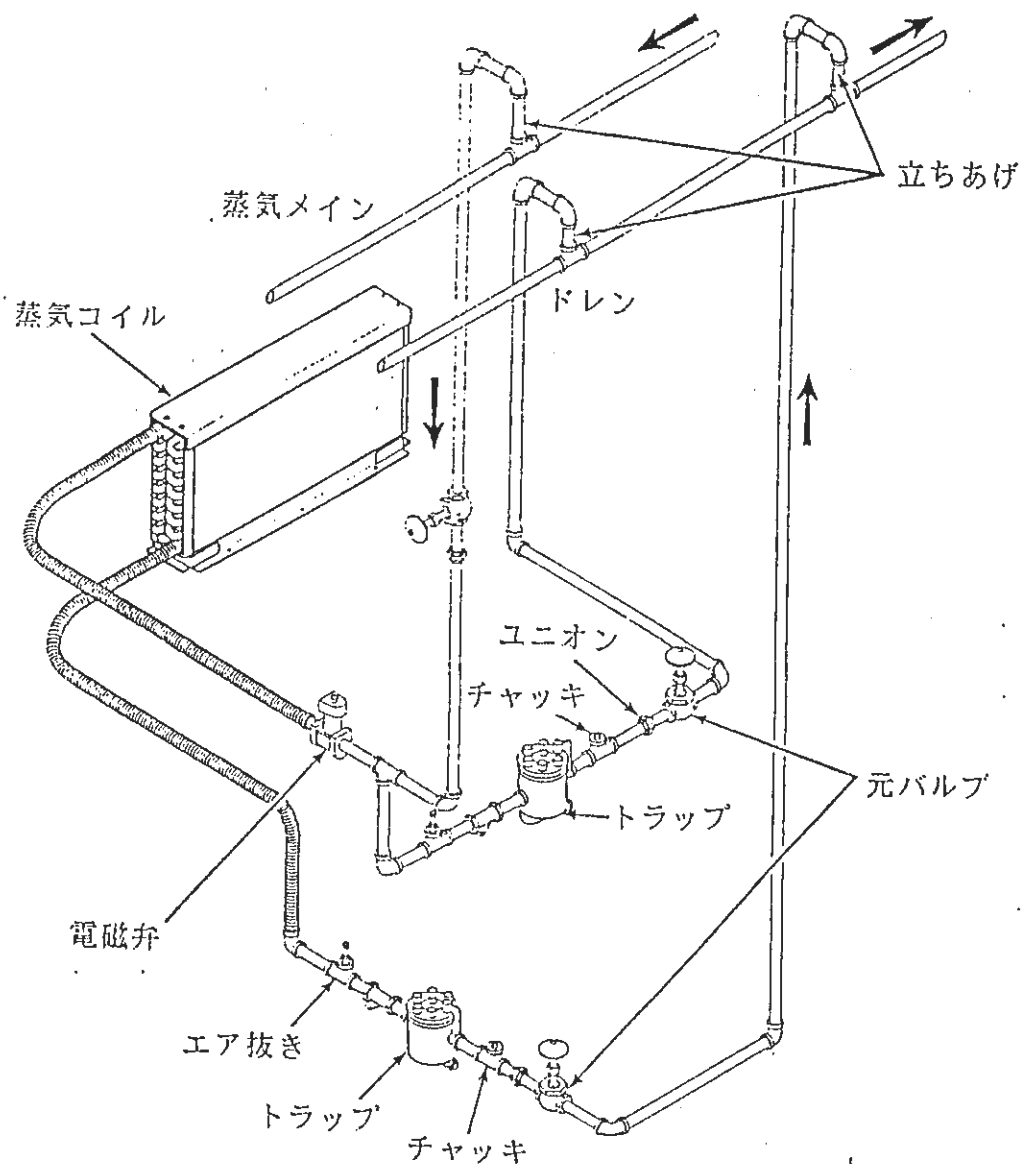
- ・ 蒸気コイルに接続する部分は動作圧8.9 kgf/cm²以上のフレキシブル管(ホース)を用いてください。
- ・ 保守、修理の為、必ず蒸気の入と出の管にはバルブを取付けてください。
- ・ 蒸気の入のラインには電磁弁の前にストレーナーを取付けてください。

トラップの取付方法

トラップは3ヶ所取り付ける必要が有ります。1つは常にコイルに入る蒸気がドレンの入っていない乾いた蒸気にするための物、2つはスチームコイルが2つ有るためそれぞれのドレンを回収する物です。

仕様表にしたがった容量のトラップを必ず選定してください。

配管概観図





警告

重大な事故を防ぐ為に、パネル類を開ける時や、電線に接触する時などは必ず電源を切ってください。試運転時もパネルなど機械をカバーする部分が開放された状態、ドアが開いた状態では電源を切ってください。

1. 正面上部のメンテナンスパネルを鍵で開ける。
2. ガス遮断バルブを開ける。（取っ手が配管に平行になる状態）
3. 上部アクセスドアをしめる。
4. 乾燥機をスタートさせる。
イグニッションが点火し、バーナーに火が付くとイグニッションは消える。
5. ドアを開けて火が消火し、乾燥機が停止するかを確認する。再びドアを閉めてスタートすると再点火するかを確認する。
6. 再点火しない場合はドアを2～3回開け閉めしてみる。

重要

イグニッションシステムは15秒間着火を試みて、15秒の間に着火しなければ、リセットされるまで着火をしなくなります。リセットをする為には機械のドアを2～3回開け閉めするとリセットされます。これを繰り返しても着火しない場合はガスの供給が正しく行われているかを確認してください。

試運転前の点検

1. すべてのパネルを外し、とどく限りのボルト、ナット、ネジ、電気接続を追い締めする。
2. Vベルトの張りを点検する。
3. スタートボタンを押して機械を回して見て、5秒以上ドアを開けたら、ドラムが7秒以内に止まるかを点検する。止まらなければ安全スイッチを修理する。
4. 機械をスタートさせて火の調節をする。
5. 機械に品物をつめる。
6. エアーフロースイッチが適切に動作しているかを確認する。



警告

エアーフロースイッチが故障した状態で絶対に運転しないで下さい。爆発や火事の危険があります。

エアーフロースイッチが正常に動作していない時はダクトが細すぎたり、適切に取りれていなかったり、吸気口が無かったりする事が有ります。

エアーフロースイッチ（安全スイッチ）の調節



警告

エアーフロースイッチの調節の際にエアーフロースイッチのディスクが吸い付く本体の穴には絶対に指を入れないで下さい。重大な怪我の元となります。

機械後部に取り付けられているエアーフロースイッチは機械から排気が適切に送り出されている事を示す安全スイッチです。蒸気式の乾燥機には取り付けられていません。

運転中は終始エアーフロースイッチのディスクが機械に張り付いている状態であればなりません。

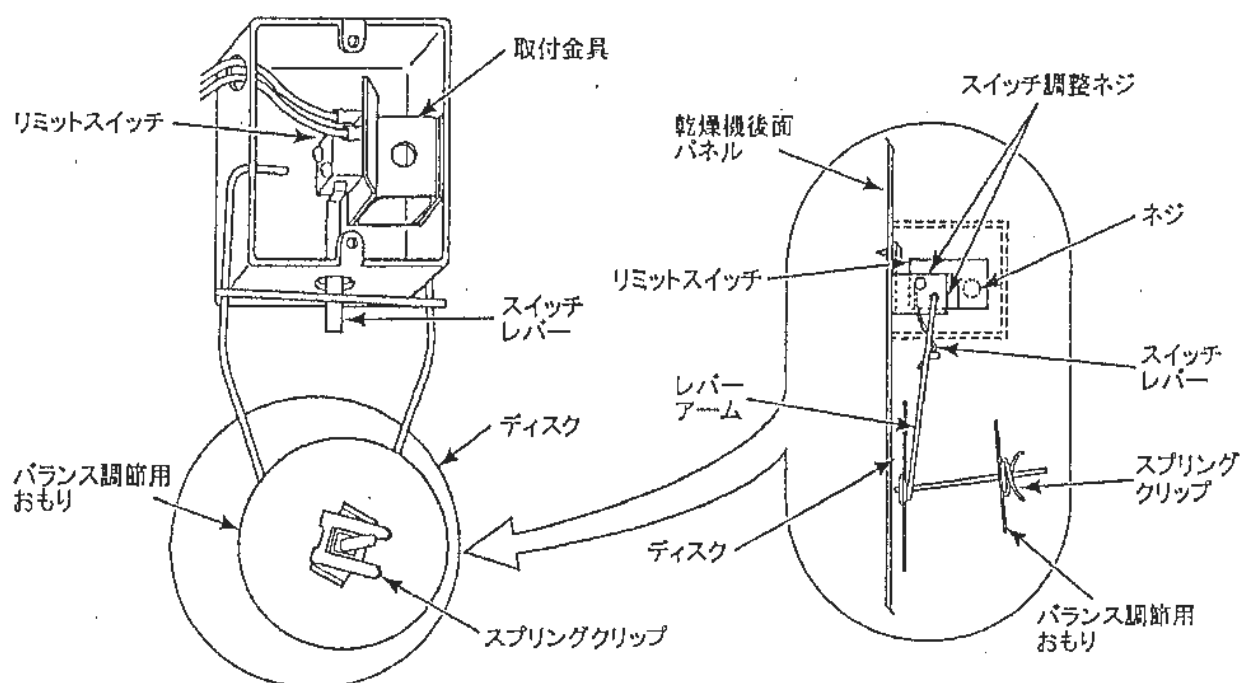
エアーフロースイッチが開いた状態になる原因。

- ◇リントゴミが溜まっている。
- ◇ダクトが詰まっている。
- ◇壁の吸気口が適切に取られていない。

重要

パネル類はすべて閉じられた状態でエアーフロースイッチを調節してください。

エアーフロースイッチの調節はスイッチ上に取り付けられているおもりの位置を変えて吸い付き具合の調節をします。



ドアスイッチ（安全スイッチ）の調節

ドアスイッチはドアが5°以上開けられると機械を停止させるスイッチです。

1. 機械を運転中にドアを開けて、機械が停止するかを確認します。
2. ドアをゆっくり閉めて行くと、「カチッ」という音がする位置があります。これがドアスイッチが動作している位置ですが、ドア先端と機械のギャップが5°± 5°になるように調節してください。

ドア留めネジ（ストライク）の調節

ドアの留めネジ調節はドアの開け閉めをする際に必要な力を決定します。適正な設定は3～6kg 位の力で開くようにします。

ドアを開けた状態で、ジャムナットを緩めてドア留めネジをねじ込むか緩めるかで調節してください。

ベルトの調節



警告

安全の為、ドライブカバーを外した状態、ベルトの調節を行っている時は必ず電源を切ってください。



警告

安全の為、外したドライブカバーは作業終了後必ず元通りに機械に取付けてください。

ベルトの適切な張りはベルトの丁度中間点を親指で押して、約10～13mm程度押せる状態です。



警告

常に衣類の乾燥表示に従い、火災の危険が有るので以下の物は乾燥しないで下さい。

- ◇プラスチック、ビニール、ゴムラバーを使用した製品。
- ◇モップ、化学雑巾など薬品や、溶剤を含んだもの。
- ◇ファイバーガラス製の製品。



警告

操作を始める前に必ずリント室を掃除してください。リント室の掃除は必ず機械が停止している状態で行ってください。掃除の後必ずリントスクリーンは元の位置に戻してください。リントスクリーンが挿入されていない状態では絶対に機械を運転しないで下さい。

業務用乾燥機（タイマー式）

1. 乾燥機の電源を入れる。
2. リントゴミを掃除して、リント室のドアをきちんと閉める。
3. ドアを開けて品物を投入する。
4. 温度設定をする。（高温：88℃、中温：72℃、低温：60℃）
5. 乾燥タイマーを設定する。
6. 冷却タイマーを設定する。
7. スタートボタンを押す。（3秒位）
8. 終了した処で品物を出す。

途中でドアを開けると、機械は停止します。再スタートするにはスタートボタンを押してください。

コイン用乾燥機

1. 乾燥機の電源を入れる。
2. リントゴミを掃除して、リント室のドアをきちんと閉める。
3. ドアを開けて品物を投入する。
4. 温度設定をする。（高温：88℃、中温：72℃、低温：60℃）
5. 百円を必要時間分投入する。（百円＝10分なら30分三百円）
6. スタートボタンを押す。（3秒位）
7. 終了した処で品物を出す。

途中でドアを開けると、機械は停止します。再スタートするにはスタートボタンを押してください。

毎日

リントゴミの掃除



警告

安全確保の為、リント掃除は必ず機械が停止している状態で行ってください。



警告

火災を防ぐ為、可燃性の物を機械回りに置かないで下さい。リントゴミは常に掃除してください。

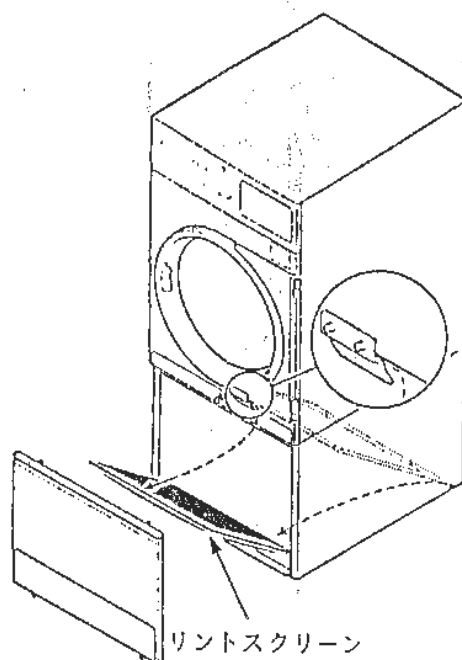
1. リント室のパネルを開ける。
2. リント室内の全てのリントゴミを掃除する。リントスクリーンもブラシをかけるなどして掃除してください。
3. リントスクリーンが破損していないかを確認してください。破損していたら直ちに交換してください。リントがダクト内に蓄積して火災の原因になったり、室外にリントを放出する形になります。
4. サーモスタット（温度感知棒）に付着しているゴミを清掃してください。



警告

サーモスタットにゴミが付着すると温度感知能力が低下し、火災の危険がありますので必ず掃除してください。

5. リント室のパネルを元に戻し、しっかりと閉めて下さい。



毎月



警告

安全の為、作業する時は必ず電源を切ってください。

リント掃除

ダクトをはずしてダクト内部、機械内部にリントの蓄積が無いかを確認、掃除してください。

3ヶ月



警告

安全の為、作業する時は必ず電源を切ってください。

掃除

- ◇モーター回り
- ◇蒸気式の場合：蒸気コイル
- ◇排気ダクト
- ◇機械回り

ベルトの張り調節

前述の項目参照

6ヶ月



警告

安全の為、作業する時は必ず電源を切ってください。



警告

電気接続、アース接続は火災や感電を防ぐ為に据付後1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後と繰り返し再確認を行ってください。

ボルト、ナット、ネジ、電気接続の追いつめ、ガス、蒸気の漏れ

ユーザー向け故障発見早見表



警告

安全の為、作業する時は必ず電源を切ってください。

症状	原因	解決方法
お金を入れてもスタートしない	コイン詰まり	コインボックスが一杯になっている。お金を回収する。 コイン投入口にお金が詰っている。掃除。
	電気が来ていない	ブレーカーが落ちている。
	びしょり濡れた物を入れて温度感知棒が濡れ、ショートしている	乾燥するまで時間を置く。
	ヒューズ切れ	ヒューズ交換
	元バルブが開いていない	開ける。
ドラムが回っても火が付かない	LPガスが無い	ガスを入れる。
	リントフィルターにゴミが一杯溜まって、エアーフロースイッチが閉じない	リントフィルターの掃除、ダクトの掃除をする。リントフィルターは最低一日1～3回掃除する。
	設定が冷却になっている	乾燥設定をやり直して、再スタートする。
	エアーフロースイッチの調節が適切でない	調節。
	リントフィルターのドアが閉まっていない	閉める。

コイン設定の方法

コイン投入枚数の決定（ディップスイッチ1～3）

コイン投入枚数の決定は何枚のコインを投入すると機械がスタートできるかを決定する枚数で、通常100円からスタートさせるのであれば、このスイッチを変更する必要は有りません。

スイッチ1番がオンになっていれば、1枚でスタートするという事になります。仮に500円でスタートさせたいければ、1番と3番をオンにします。

動作時間の決定（ディップスイッチ4～8）

ディップスイッチの4番から8番は100円一枚で何分間機械が運転するかを決定するスイッチです。以下の表のようなスイッチの組み合わせで時間を決定します。

スイッチごとの設定値

4番	5番	6番	7番	8番
30秒	1分	2分	4分	8分

設定希望時間に対するオンスイッチ番号

設定希望時間	スイッチオン設定
5分	5番+7番
6分	6番+7番
7分	5番+6番+7番
8分	8番
9分	5番+8番
10分	6番+8番

機械保証

ヒューピッシュ保証

- | | |
|---|------------|
| 1. Vベルト、排水ホース、繊維製品、ディスク、パッキン | お引渡し日から90日 |
| 2. 1の項目を除いたすべての部品。 | お引渡し日から3年 |
| 3. 適切なメンテナンス条件下で使用中に生じた故障に対する
オンサイトサービス。 | お引渡し日から1年 |
| 4. フレーム、シャフト、ベアリング、ベアリングシール | お引渡し日から5年 |

以下項目については保証の対象外とさせていただきます。

1. 日々の清掃、メンテナンスが適切に行われていない時。
2. 据付が適切に行われていない時。
3. ランドリー用途以外の洗浄を行った時。
4. 薬品を用いた為に生じた腐食。
5. 弊社もしくは弊社の代理店の了承無しで、機械の改造を行った事が原因とされる故障修理。
6. お客様で弊社もしくは弊社代理店の了承無しで、故障修理を行い、その請求を弊社または弊社代理店に後から請求する場合。
7. 「ヒューピッシュ据付検査報告書」を据付時に提出していない時。
8. 再販された中古品。
9. 機械の不良により生じた、如何なる直接的又は間接的損害及び被害。

保証による部品請求は

最寄のヒューピッシュ代理店にご連絡下さい。その際、据付日、機種、製造番号を必ず御用意下さい。

